

昭和初期の木造絹織物工場を改装した映画館がOPENしました



鶴岡まちなかキネマ

所在地／山形県鶴岡市

建築主／まちづくり鶴岡

敷地面積／10,411.27㎡

工事種別／増築、用途変更、
大規模な模様替え

用途／映画館、レストラン

主要構造／木造平屋

最高高さ／6.73m(B西・B東棟)
6.85m(C棟)

建築面積／1,561.10㎡(第一期)

延べ面積／1,558.12㎡(第一期)

竣工／平成22年4月

OPEN／平成22年5月



庄内平野に位置する静かな城下町鶴岡において、歴史的建築の活用や、場所の文脈や地域文化を尊重する建築づくりを通して、地域風景を守り創造する活動に取り組んできました。

鶴岡まちなかキネマは中心市街地活性化を目的とする(株)まちづくり鶴岡が木造絹織物工場を映画館に再生する事業でした。かつては鶴岡の産業を支え、今なお鶴岡人の誇りである絹織物の工場が中心部再生のシンボルとなることの意味は大きく、私たちは木造トラスの小屋組みなどを活かして工場らしさを継承すること、絹織物をモチーフとしたデザインを試みることで大手シネコンにはない個性的な映画館作りを試みました。

シネマについては小屋組みを現す一方で、必要な梁下高さを確保するために床を掘り込み込み観客席を設置しました。構造、施工上の困難はあったものの地下方向に空間、気積を拡大したことで、既存木造建築の改修を超えた空間の質をつくり出したように思います。壁には絹織物の経糸横糸をイメージした木製ルーバーを用いていました。

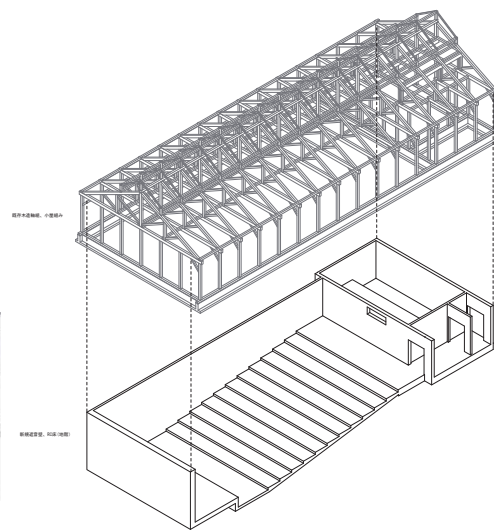
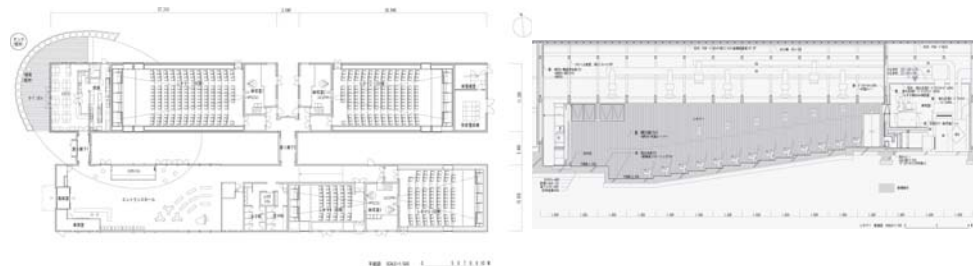
エントランスホールはダイナミックな小屋組みを上部トップライトからの光で浮かび上がります。壁は旧工場時代と同様に杉羽目板貼りとし、木に包まれた親しみやすい雰囲気としました。繭の形や羽二重のパターンなどもエントランス周りのデザインに活かされています。



改修前の外観

改修前の内部

現れたトラス小屋組み



2010.JULY

NEWS LETTER

HP <http://www15.ocn.ne.jp/~takatani/>

(株)設計・計画高谷時彦事務所